みなとっぷ

地域の魅力を地元から発信

Takanawa Community News Magazine

高輪地区情報紙

三田4·5丁目·高輪·白金·白金台

2024年7月 Vol. 52

発行：高輪地区総合支所 協働推進課

編集：みなとっぷ編集室

https://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html

2024.04 コッホ・北里神社　志賀潔博士の手植えの枝垂れ桜

（学校法人北里研究所北里柴三郎記念博物館より提供）

北里柴三郎

（学校法人北里研究所北里柴三郎記念博物館より提供）

北里柴三郎 新千円札の顔に!

白金台にある東京大学医科学研究所（旧伝染病研究所）初代所長であり、また、白金五丁目の北里研究所創立者である北里柴三郎が新千円札の顔になりました。

（文/安藤）

愛知県犬山市にある「博物館 明治村」に移設された北里研究所の本館・医学館。「博物館 明治村」は、100万㎡の敷地に、明治時代を中心とする60以上の歴史的建造物を移築し、保存・展示する野外博物館です（愛知県犬山市内山1番地）

（「博物館 明治村」より提供）

CONTENTS

P2　この街にこの人あり
畠田貴生先生、島川真樹先生
（東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部顧問）

P3　高輪地区の花とみどり

P4/5　地域のあしあと【北里柴三郎の足跡をたどる】

P6　わがまちの保育園紹介
アイグラン保育園白金台／うれしい保育園白金高輪

P7　お待ちしてます！ スポーカル高松
ペット　私だって地域の一員！　クラフトちゃん、ガブリエラちゃん

P8　区からのお知らせ

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

この街にこの人あり

畠田貴生（はたけだたかお）先生・島川真樹（しまかわまき）先生
（東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部顧問）

畠田先生（右）と島川先生（左）

プロフィール
畠田貴生先生……1971年北海道生まれ。1993年早稲田大学先進理工学部卒業。1994年東海大学付属高輪台高等学校に理科の教員として勤務、吹奏楽部の指揮者に就任。2002年～2023年までに東海大学付属高輪台高等学校と東京隆生吹奏楽団の指揮者として、全日本吹奏楽コンクール全国大会に29回出場し、22回金賞を受賞した。2019年には全日本吹奏楽連盟より「長年出場指揮者」として表彰を受ける。現在、全日本高等学校吹奏楽連盟常任理事、21世紀の吹奏楽「響宴」会員。
島川真樹先生……東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部顧問、東京隆生吹奏楽団 団長。

「自分に自信・友に信頼・人に感謝」

全日本高等学校吹奏楽コンクールや全日本高等学校マーチングコンテストで何度も金賞を受賞されている東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部。顧問の畠田貴生先生と島川真樹先生に、お話をうかがいました。

●吹奏楽部についてお聞かせください

―現在、部員は何名ですか？　部員はスカウトするのですか？

部員数はサッカー部に次いで多く、160名です。男性部員は50名、女性部員は110名で、圧倒的に女性部員が多いです。中学からスカウトした部員は一人もいません。吹奏楽部入部を目指して本校に入学する学生もたくさんいますが、入部前に楽器に触れたことがない部員もいます。それがかえってよいのではないでしょうか。自分で努力して上達することを自覚して練習するからです。毎日、勉強の時間以外は一日中練習する部員もいます。

―指導方針は？

「自分に自信・友に信頼・人に感謝」という部訓があります。

自分に自信がつくまで練習する、一緒に演奏する仲間を信頼する、演奏を聴いてくださる皆さんに感謝の気持ちを忘れない、という意味です。

何事も、基礎・基本をしっかり身につけることが大事だと思います。

―練習は、週何回位ですか？

ほぼ毎日です。音楽室での合奏や各教室を使用しての練習がほとんどですが、マーチングの練習は、廊下や運動部が使わない時間の体育館を利用して行います。

ダンスのパフォーマンスを専門家に見てもらうこともあります。

マーチングは一定の図形を描くように動きますので、お互いの連携が重要です。生徒同士で動き方を工夫しながら行っています。

―入賞歴はいかがですか？

全日本高等学校吹奏楽コンクールでは17回中12回金賞を、全日本高等学校マーチングコンテストでは8回中4回金賞を受賞しています。マーチングコンテストは、平成12（2000）年から参加しています。

―演奏会は全国各地、海外でもされるのですね

国内では、35都道府県で行いました。海外演奏旅行は、オーストリア、オランダ、ドイツ、アメリカ、カナダなどです。

今年はオーストラリアのシドニーに行きました。1,000人の会場が満席になる人気ぶりでした。外国人のお客さんは、反応やパフォーマンスがすごく、一体感のある演奏ができ、楽しくなります。

―港区での演奏会は？

「高松桜まつり」や「うな10×10（じゅうじゅう）祭」でマーチングや演奏を披露しています。新橋や麻布などでもマーチングを行っています。

「高松桜まつり」でのマーチングと演奏は、皆さん、とても楽しみにしています。お客さんの反応がよいため、学生たちも励みになっています。上皇陛下ご夫妻に向けて仙洞仮御所横で演奏した時に、両陛下は喜ばれていたとうかがっております。また、別の機会で、現天皇陛下の前でも演奏したことがあります。お褒めの言葉をいただき、光栄でした。

―今後も地域とのつながりを考えていますか？

本校の学生1,600人が地域を通って通学しているので、これからも地域とのつながりを大切にしたいと考えています。学生も通学途中よく、地域の方から「この前の演奏見たよ。とてもよかった」と声をかけられ喜んでいました。

●畠田先生、島川先生ご自身について、おうかがいします

―畠田先生と島川先生が教えられているのは、音楽の授業ですか？

畠田先生：いいえ。わたしは、早稲田大学先進理工学部応用化学科の出身で、授業では物理、化学を教えています。朝8時45分に出勤して、授業後、21時まで部の指導を行います。一日中の仕事になりますが、部の指導は私の楽しみでもあるので、気持ちを切り替えることができます。

島川先生：わたしは部活の指導のみです。

―吹奏楽部を指導されたきっかけは？

畠田先生：わたしは、千葉県立千葉南高等学校吹奏楽部で打楽器を演奏していました。東海大学付属高輪台高等学校の教員採用試験の時、高輪台高等学校吹奏楽部を日本一にして見せますと言ったら採用になり、吹奏楽部の指導をすることになりました。

―指導されて何年位になりますか？　どのように指導されましたか？

畠田先生：指導して31年になります。わたしが入った時、吹奏楽部は男子だけで40名ほどでした。最初はわたしがもっている高い目標と生徒たちの目標がずれていたので、指導に苦労しました。

当時評判が高かった東海大学付属札幌高等学校を訪問し、その演奏を聴いた時、生徒たちの反応ががらっと変わりました。われわれとは全然違う、この演奏を目指そうという気持ちになりました。目標がはっきりしたので、生徒たちが必死に努力した結果、コンクールに入賞するようになりました。

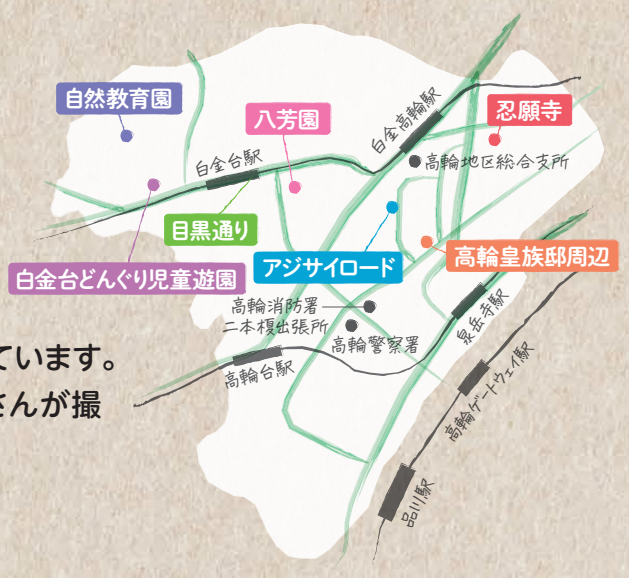
高松桜まつりでの演奏

第58回マーチングバンド関東大会

品川駅港南口交通安全パレード

（担当/安藤、川野、飯島、野中）

高輪地区の花とみどり



令和4（2022）年3月に作成された「港区みどりの実態調査（第10次）」によれば、高輪地区の緑被率は28%と高く、都心にしては、みどりに恵まれた地区です。また、四季折々、さまざまな花が咲いて、わたしたちの目を楽しませています。今回、晩春から夏に咲く花をご紹介します。写真は地域の写真家・平尾恭一さんが撮影・作成された冊子「高輪花ごよみ」とホームページから掲載しています。

4月

目黒通り／区の木 ハナミズキ

4月

白金台どんぐり児童遊園／フジ

5月

国立科学博物館
附属自然教育園／
アヤメ

5月

高輪皇族邸
（旧仙洞仮御所）周辺／
区の花 バラ
（プリンセスミチコ）

5月

八芳園／サツキ

6月

アジサイロード（高松中学校）／区の花 アジサイ

8月

忍願寺／サルスベリ

（担当／平尾、安藤、阿部、清水、池井戸）

地域のあしあと

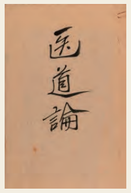
【北里柴三郎の足跡をたどる】

7月3日発行の新千円札の肖像画に採用された北里柴三郎は、白金台の東京大学医科学研究所（旧伝染病研究所）の初代所長であり、白金五丁目の北里研究所の創立者でもあり、まさに高輪地区ゆかりの人といえます。今回、北里柴三郎の足跡や業績などとともに地域との関わりをご紹介します。

西暦	元号	年齢	事柄
1853	嘉永6		現在の熊本県阿蘇郡小国町に生まれる（1月29日）
1871	明治4	18歳	古城医学所兼病院にて、医学の道を志す
1874	明治7	21歳	東京医学校（東京大学医学部）に入学
1883	明治16	30歳	東京大学医学部を卒業／内務省衛生局に入局 松尾馬と結婚
1886	明治19	32歳	ドイツのベルリン大学へ留学 ローベルト・コッホに師事する
1889	明治22	36歳	破傷風菌の純粋培養に成功
1890	明治23	37歳	破傷風菌抗毒素（免疫体）の発見、血清療法の確立
1892	明治25	39歳	ドイツより帰国 日本初の「大日本私立衛生会附属伝染病研究所」（芝区芝公園）を創立
1893	明治26	40歳	日本初の結核専門病院「土筆ヶ岡養生園」を開設
1894	明治27	41歳	ペスト菌発見
1906	明治39	53歳	国立伝染研究所を芝区白金台町に移転
1910	明治43	57歳	恩師ローベルト・コッホ逝去／翌年伝染病研究所内にコッホ祠を建立
1913	大正2	60歳	日本結核予防協会を設立、理事長に就任
1914	大正3	61歳	土筆ヶ岡養生園の一角に私立北里研究所（芝区白金三光町）を創立
1915	大正4	62歳	恩賜財団済生会芝病院（現 東京都済生会中央病院）初代院長に就任
1917	大正6	64歳	慶應義塾大学部医学科を創設、初代医学科長に就任
1923	大正12	70歳	日本医師会を創設、初代会長に就任
1931	昭和6	78歳	脳溢血により逝去（6月13日）

北里柴三郎（57歳）※

予防医学の先駆者である北里の研究業績について



「医道論」表紙※

明治7（1874）年、東京医学校に入学し、在学中に書いた演説草稿の「医道論」で「医者の使命は病を未然に防ぐこと」と考えた北里は、「予防医学こそ自分の使命」とし、公衆衛生の仕事に就くことを決意。卒業後、内務省衛生局に入局しました。

明治19（1886）年からの6年間、ドイツに留学し、世界的な細菌学者ローベルト・コッホ博士の下で研究に専念し、明治22（1889）年、世界で初めて破傷風菌の純粋培養に成功。翌年には免疫抗体を発見、血清療法を確立して抗体療法の礎を築き、一連の業績により、世界的研究者として名声を博しました。また、帰国後の明治27（1894）年には香港で発生したペストの原因調査に赴き、ペスト菌を発見しました。

ドイツ留学中の北里柴三郎「破傷風の血清療法確立を記念して」1890年 37歳※

北里考案の嫌気性菌培養装置（模型）※

ドイツ留学を終えるにあたり、海外の有数な研究機関から多くのオファーがありましたが、北里は帰国を選びました。官費留学生として「報恩」の精神と、日本に帰って結核をはじめとする感染症を撲滅・予防することが自分の使命であるという意思は揺らぎませんでした。「終始一貫」という彼のモットーそのままに、一本道で進んでいった生涯でした。

明治25（1892）年に帰国した北里は、「大日本私立衛生会附属伝染病研究所」を創立、翌年には日本で最初の結核専門病院「土筆ヶ岡養生園」を開設、さらに、大正3（1914）年には新たな医学研究機関「私立北里研究所」を創立しました。多くの優秀な門下生を輩出し、細菌学・免疫学分野での教育活動や衛生行政などの分野でも大きく貢献しました。

北里は「実学」を一番の根本に置き、さらに「開拓・報恩・叡智と実践・不撓不屈」の4つの信念を持っていました。この「柴三郎スピリット」が「北里精神」として連綿と引き継がれている、とのことです。

北里の研究活動に支援を惜しまなかった福沢諭吉

ドイツ留学から帰国後、北里の力量をいかせる場がないことを惜しんだ福沢諭吉は、森村市左衛門とともに私財1万円ずつを投じて、結核専門病院土筆ヶ岡養生園（芝区白金三光町）の設立を支援しました。

福沢諭吉※

森村市左衛門※

結核専門病院「土筆ヶ岡養生園」玄関※

福沢諭吉はまた、当時広がっていた「伝染病病院の設置は近隣住民に悪影響を及ぼす」との風評被害を解消すべく、自身の息子を近隣に居住させ、北里が医療活動に打ち込める環境の形成に支援を惜しまなかったといわれています。

後年、北里は要請を受け慶應義塾大学部医学科（現 慶應義塾大学医学部）の創設に尽力。医学科長に就任し、同大学の医学教育の発展に貢献し、福沢諭吉の恩に報いたのです。

養生園で出されていた献立イメージ※

コッホ博士への感謝の思い～コッホ・北里神社

コッホ博士のもと、数多くの輝かしい業績をあげた北里。一人前の研究者に育ててくれたコッホに深い感謝を抱き続けたといわれ、コッホ夫妻が明治41（1908）年に日本に滞在した73日間、自ら各地を案内した逸話が残されています。

明治43（1910）年、コッホ逝去の際にとても悲しんだ北里は、感謝の念と研究事業のさらなる発展への誓いとしてコッホ祠を建立。現在は「コッホ・北里神社」となり、北里研究所病院に通う多くの患者さんやご家族が、病気の治癒や健康を願って参拝されています。

引き継がれる北里柴三郎の精神

明治34（1901）年、第1回ノーベル生理学・医学賞の最終候補者15人のうちの1人に選ばれましたが惜しくも受賞はなりませんでした（この年受賞したのは同じ血清療法の研究で業績を上げたドイツのエミール・フォン・ベーリングでした）。約110年を経て同じ北里研究所出身の大村智先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されたのも記憶に新しいところです。「社会に対してどう貢献できるか」。この精神は脈々と受け継がれ、ノーベル賞級の業績を上げる基本的な理念となっていると、同研究所の森先生はおっしゃっています。

福沢諭吉書簡田端重晟宛※……福沢諭吉のもとへ養生園から届けられた牛乳瓶に毛髪がついていたことを引き合いに、衛生管理の重要性を厳しく指導

お話をうかがった北里柴三郎記念博物館の森孝之医学博士（左）と遠藤瑠海主任（右）

北里柴三郎記念博物館 展示室※

北里柴三郎記念博物館のリニューアルとイベント情報

昭和39（1964）年に北里研究所創立50周年の記念事業の一環として開設された「北里柴三郎遺品室」から時を経て、現在は子どもから一般の方々、専門家にいたるまで、多様なニーズに応えられた展示がなされています。

今回新千円札の顔として選ばれた北里を記念して、7月3日に博物館の常設展を大幅リニューアル。展示室2も増設されました。日本医学の土台を築いた先人たちの足跡を知り、その功績の重みを十分に堪能できる場所となっています。ぜひ、足を運んでみてください。

新千円札と発行イベント

千円札の表面は、北里柴三郎の肖像画です。肖像画はホログラムを新たに採用しました。3Dで表現された肖像が回転する最先端技術が用いられています。この技術の銀行券への採用は世界初です。

裏面には、江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎の代表作で知名度も高く、世界の芸術家に影響を与えた「富嶽三十六景（神奈川沖浪裏）」が描かれています。

北里柴三郎記念博物館では、新札発行にちなんで、令和6（2024）年7月3日から10月31日まで、北里柴三郎特別展が開催されます。

新しい日本銀行券特設サイト

北里柴三郎ゆかりの地を訪ねて

北里柴三郎記念博物館※
北里柴三郎の業績、学術論文、ゆかりの人物などを展示した博物館。新札発行にちなんだ展示コーナーも。開館は平日10時～17時で入館は16時30分まで（土日祝のほか、夏季などの特別休館日あり）、入館料無料。

白金北里通り商店会
北里研究所から恵比寿三丁目交差点に位置する「白金北里通り商店会」。古い建物をいかした趣きのある店が立ち並ぶ。北里研究所前の都道305号は、通称・白金北里通りとして、近隣の人々に親しまれている。

国立伝染病研究所※
北里柴三郎が設立した大日本私立衛生会附属伝染病研究所は、内務省所管の国立伝染病研究所となり、明治39（1906）年に白金台に移転。文部省移管などを経て、現在は、東京大学医科学研究所となっている。

土筆ヶ岡養生園※
北里柴三郎の治療が受けられる結核専門病院「土筆ヶ岡養生園」を、福沢諭吉らが出資して開設。北里は、国立伝染病研究所を辞した後、この地に医学研究機関「北里研究所」を創設した。建物は現存しない。

北里研究所 北里大学 北里研究所病院
北里柴三郎が創立した北里研究所は、昭和37（1962）年に北里大学を開学。多くの研究者、医療関係者などを輩出し、数々の研究業績を残している。

コッホ・北里神社※
北里柴三郎は、恩師コッホを悼み、「コッホ祠」を建立した。北里の没後に「北里祠」も建立されたが、戦災で焼失。現在は合祀され、北里大学白金キャンパス内に「コッホ・北里神社」として祀られている。

※写真提供：学校法人北里研究所北里柴三郎記念博物館

（担当/安藤、大庭、岡田、大友、田中、米山）

わ が ま ち の 保 育 園 紹 介

子育て支援の拠点となっている保育園ですが、それぞれに子どもたちの健やかな環境を考えた特徴があります。
ここではわがまち高輪地区の保育園を紹介します。

アイグラン保育園白金台

私立認可保育園（定員71名）
株式会社アイグラン

●港区白金台3-13-18
●開設　令和3（2021）年4月

「アイグラン保育園」は、東京メトロ『白金台駅』から徒歩5分の、閑静な住宅街の中にあります。

久保園長先生にお話をお聞きしました。

「私たちは子どもたちに『自分の夢を自分の力で実現できる人』になってほしいと願っています。そのために、自主性や思いやりの気持ちをもつことや、個性を大事にすることを大切にしています。保育士は子どもたち一人ひとりの気持ちを受け止め、『心の基地』となれるよう、思いやりをもって接しています。

また、『食べること＝楽しいこと』を理念に掲げ、食育にも取り組んでいます。給食やおやつは、手作りや天然出汁にこだわり、化学調味料や冷凍食品を極力使用せずに提供しています」。

リトミック（週1回 20～30分）と英会話（月2回 20～30分）のクラスを見学しました。本格的なリトミック教育を導入されていて、音楽に合わせて身体を動かす楽しさを伝えていました。最初はぎこちない様子の子どもたちでしたが、あっという間にコツをつかんでニコニコ笑顔で踊ります。

また、別のクラスでは外国人講師による英会話の授業が行われていました。カードを用いて、踊りながら歌いながら遊ぶようにして英会話を楽しみます。子どもたちのいきいきとした様子がとても印象的でした。

身体を大きく動かしながら楽しく英語に触れています

久保園長先生にこだわりのつまった給食をご紹介いただきました

子どもたちの安心の基地となりますように、といつでも温かく寄り添います

専門のリトミック講師は子どもたちと視線を合わせながら授業をします

うれしい保育園白金高輪

私立認可保育園（定員60名）
株式会社ケア21

●港区三田5-17-2
●開設　令和2（2020）年4月

「うれしい保育園」は、東京メトロ『白金高輪駅』から徒歩7分、近くにはスーパーがあり、便利な場所にあります。

水谷園長先生にお話をお聞きしました。

「私たちは子どもたち一人ひとりがそれぞれの個性をお互いに認め合い、思い合えることが大切であると考えています。そのために、年齢や性別に関係なく助け合い、協力し合える世代間交流の持てるクラス編成を導入しています。

子どもたちの自主性が育っていく環境を作り出すのが保育士の仕事であると考えています」。

おやつの時間を見学させていただきました。

お昼寝から目覚めた子どもたちは、自分たちでおやつの食器を並べたり、飲み物をコップに注いだり、手分けをして協力し合って準備をします。目覚めたての眠い目をこすりながらも、仲間たちと協力し合っておやつの準備をする子どもたちからは、お互いを思い合う心が、温かく育っていることを感じます。

おやつにおいしそうなバナナケーキが出て、ひとくち食べると、みんなニコニコ笑顔になり、とても愛らしかったです。

自分のものを自分で管理することができるように見守ることで、自主性が育ちます

おいしいおやつに顔がほころびます

おやつの準備も、みんなで手分けをして行います

本に目印のシールを貼ることで、子どもたちは自分たちで本を片付けることができます

水谷園長先生

（担当/飯島、村田、川野）

お待ちしてます! Sports & Culture スポーカル高松

スポーカル高松ロゴ

近くで、好きな趣味を楽しみたいけど、そんな所は……。
お任せください!　港区には「スポーカル」（スポーツ・文化の自主運営クラブ）があります。
今回区内4地区のうち、高輪地区の「スポーカル高松」をご紹介します。

こちらの自主運営クラブは、充実した生活を送るべく、行政も推奨するスポーツ・文化活動です。スポーカル高松には、バドミントンやバスケットボール、キッズのテニスのほか、文化活動もあり、高松中学校や高輪台小学校などで、10以上の種目が行われています。大人も子どももOKです。

「予定表は公共施設にあるので、ぜひご覧ください」と語るのは、クラブを支える代表の今野由理子さん。「子育てで大変な頃、地域の方にお世話になったことがきっかけ」と事務局長の繁田ゆみ子さん。ともに港区スポーツ推進委員として、設立以前から地道な活動をされてきました。学校を借りているので日程のやりくりなど、見えないところでのご尽力のおかげでクラブが回っています。お話をうかがい、このお二人を支える仲間こそ必要だと痛感しました。運営ボランティアを募集中です!

クラブを支えるお二人

お邪魔した高松中学校体育館では、老若男女いろいろな方が柔らかなボールでゲームを楽しんでいた「ソフトバレーボール」、コーチのサーブを正確に返す練習中の「バドミントン」を見学しました。もちろん親子一緒に楽しめます。

高輪の圓眞寺「小学生向け手話教室」に参加した4年生の子どもは、「大学の文化祭で観た“手話劇”がおもしろくて、やりたくなった」と、キラキラした目で話してくれました。先生の「楽しんで学ぶ」姿勢が強く感じられる教室でした。

このほか、たくさんのプログラムをご用意して皆さんの参加をお待ちしています。“いつでも誰でも、気軽に”スポーツや文化活動に熱中しませんか?お金で買えない世界が待っています。二次元コードもご参考に。

取材後に、どこかで聞いた「動いている機械は錆びつかない」という言葉を思い出しました。

手話で楽しく…

ネット際の攻防（ソフトバレーボール）

サーブを正確に返そう（バドミントン）

スポーカルについては、左記二次元コードをご確認ください。

（担当/三富、大庭、村田、安藤、佐々木）

ペット

私だって地域の一員!

クラフトちゃん（オス/11才/盲導犬引退犬/ゴールデン・レトリバーとラブラドール・レトリバーのミックス）
ガブリエラちゃん（メス/9才/保護犬/ゴールデン・レトリバー）★飼い主：青﨑さんご家族(白金2丁目在住)

盲導犬としての責任を果たした犬は、引退犬ボランティアに引き取られ余生を過ごすことをご存じですか?

そんな引退犬クラフトちゃんとの出会いは、青﨑さんご家族に大きな変化をもたらしました。一番の変化は、先住犬であるガブリエラちゃんの性格が穏やかになり、丸くなったことだそうです。

お話の中で、特に印象的だったのは、クラフトちゃんがやってきて半年がたったある日の出来事です。

お散歩から帰宅したところ、クラフトちゃんがいないことに気がつきます。慌てて探しに戻ると、リードから手を離してしまったであろう、その場所から一歩も動かずお座りをして待っていてくれていたそうです。

美奈子さんはその瞬間、安心したのと同時に、盲導犬らしい律儀で誠実な振る舞いに驚いたとのことでした。

くつろぐクラフトちゃん

クラフトちゃん（左）と
ガブリエラちゃん（右）

青﨑さんご家族に出会ったクラフトちゃんもまた大きな変化をし、今ではすっかりリラックスして過ごしているようです。

（担当/飯島、村田、阿部）

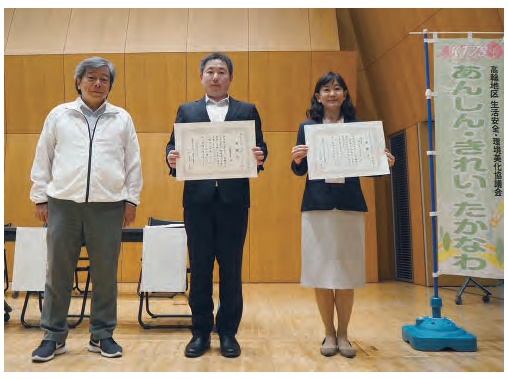
青﨑美奈子（あおさき みなこ）さん

美奈子さん、桜子（さくらこ）さん親子

区からのお知らせ

高輪地区総合支所の公式X（旧ツイッター）では、地域のできごとをはじめとした様々な情報を発信中。ぜひフォローをよろしくお願いします！　@minato_takanawa

高輪地区生活安全・環境美化協議会の感謝状贈呈式を行いました



地域の「あんしん・きれい」の推進を目的に活動を行っている「高輪地区生活安全・環境美化協議会」では、参加団体の中で、活動を3年間継続して年2回以上参加している団体に感謝状を贈呈しています。

今年度の受賞団体は、高輪警察署と東京電力パワーグリッド株式会社 銀座支社の2団体。その功績をたたえ、5月28日に感謝状の贈呈式を行いました。

「高輪地区生活安全・環境美化協議会」は、高輪地区に住み、働き、活動する団体・企業・官公庁で構成される組織です。活動にご協力いただける方・興味のある方は、以下のお問合せ先にご連絡ください。

二次元コード

お問合せ先　高輪地区総合支所　協働推進課　協働推進係　☎03-5421-7621

令和6年度港区総合防災訓練(高輪会場)のお知らせ

総合防災訓練の様子

令和6年度港区総合防災訓練（高輪会場）を以下のとおり実施します。

初期消火訓練や子ども向けの防災訓練のほか、事業者による普及啓発などを実施する予定ですので、ぜひご参加ください。

- 日程：11月10日（日）
- 時間：午前9：30～11：30
- 場所：港区立高松中学校

お問合せ先　高輪地区総合支所　協働推進課　協働推進係　☎03-5421-7621

高輪消防署、火災による死者ゼロ3500日達成!

5月18日に「火災による死者ゼロ3500日」を達成しました。この記録は地域の皆さまのご協力によって実現できたものです。今後も皆さまと連携し、安全・安心な街を目指して火災予防行政に取り組んで参ります。

お問合せ先　高輪消防署　警防課　地域防災担当　☎03-3446-0119

コミュニティ・カフェ高輪

写真はHUG高輪でのミニ講演会（2024.02.20）

地域の方が交流できる居場所として、高輪地区CCクラブ、高輪地区総合支所協働推進課、高輪区民センターそして地域の方が協働で運営しているカフェです。高輪区民センター2階展示ギャラリー前では毎月第2・4金曜日13：30～15：30（8月と12月の第4金曜日は休み）、ゆかしの杜6階区民協働スペースでは毎月第3金曜日13：30～15：30（8月は休み）にカフェをオープンしています。

HUG高輪ではほぼ毎月第3火曜日にミニ講演会（14：00から）を開催しています。ミニ講演会のない月はカフェをオープンします。毎月いろいろなイベントを企画しています。詳細は港区掲示板、高輪地区デジタルサイネージ、いきいきプラザなどのチラシでご案内します。

どなたでも、無料で参加できるカフェですので、お仲間と一緒でも、お一人でもご参加ください。お待ちしています。

お問合せ先　高輪地区総合支所　協働推進課　地区政策担当　☎03-5421-7123

港区ゆかりの北里柴三郎 博士が新札に!～新千円札発行記念パネル展～

展示の様子

このたび、港区と教育、文化、地域振興などの分野において連携協力に関する基本協定を締結している、北里大学の学祖である北里柴三郎博士が、7月3日より新千円札の肖像画になりました。

研究拠点として、高輪地区総合支所管内にゆかりのあることから、新札発行を記念し、高輪コミュニティーぷらざ1階において、等身大パネルや経歴、研究内容などを展示しています。

お問合せ先　高輪地区総合支所　協働推進課　地区政策担当　☎03-5421-7123

募集予告　明治学院歴史資料館講演会レクチャーコンサート「明治学院リードオルガンの響きとこれから」

- 日時：10月19日（土）13：30～15：30（開場13：00）
- 会場：明治学院記念館（明治学院白金キャンパス）
- 講師：加藤拓未氏（NHK-FM「古楽の楽しみ」案内役）、加藤万梨耶氏（オルガン製作者）、原田真侑氏（明治学院オルガニスト）
- 申込方法/期間：往復はがき/8月20日(火)～9月20日（金）消印有効

お問合せ先　明治学院歴史資料館　講演会係　☎03-5421-5170

毎週水曜日は午後7時まで受付　※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係　☎5421-7612／保健福祉係　☎5421-7085

本紙のバックナンバーは港区ホームページ（高輪地区総合支所のページ）からもご覧になれます。　みなとっぷ　バックナンバー

編集だより

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

区民編集メンバー　※50音順

安藤 洋一（チーフ）
大友 登喜雄（サブチーフ）
天野 郁美
阿部 泰
飯島 真弓
池井戸 晴美
大庭 澄子
岡田 薫
川野 まりえ
小林 由夏
佐々木 智秋
清水 徹夫
田中 康造
野中 麻美
平尾 恭一
三富 和則
村田 志織里
米山 ノリコ

▶新しいメンバーが大勢入り、幅が広がりました。編集会議も活気があり、紙面も一層充実しそうです。これからの「みなとっぷ」に乞うご期待。（安藤）

▶「実学」を根本に置き「予防医学こそ自分の使命」との信念を生涯貫いた北里柴三郎の人生に改めて感動しました。（大友）

▶高輪地域は緑地の比率が高いといわれます。公園の面積が広いだけでなく、あちこちに花が多いのも印象的です。この一端を伝えられたら、と思います。（阿部）

▶盲導犬引退犬や保育園への取材を通して、身近な未知に触れました。ほんの少し手を伸ばすだけで新しいものと出会えるようです。（飯島）

▶初参加!「北里柴三郎」の取材では改めて偉人の凄さを実感でき、「スポーカル高松」では、息子とともに手話を楽しませていただきました。（大庭）

▶伝染病研究や日本の衛生行政に尽力した北里柴三郎博士。今日のような衛生的な都市環境は、先人たちの地道な努力の賜物だとわかりました。（岡田）

▶東海大学付属高輪台高校吹奏楽部の演奏、高輪地区の桜まつりでいつも楽しませていただいています。指導されている畠田先生から情熱あふれるお話をお聞きでき、感動でした。（川野）

▶スポーカルさんの取材に参加しました。小学生から社会人の方まで、あたたかい雰囲気のなかで皆さまがスポーツを楽しんでいて、素敵だな! と思いました。（佐々木）

▶4月よりメンバーとなり、諸先輩に緑と花の名所をお教えいただきました。少しでも地域の魅力をお届けできればと思います。（清水）

▶取材を通じて北里柴三郎の医学発展に与えた影響の大きさと白金地区とのつながりの強さを再認識しました。（田中）

▶私は写真を撮るサポートをしていますが、編集メンバーが取材をし、丁寧に記事をまとめている様子を編集会議で聞くと非常に勉強になります。（平尾）

▶今回の取材で「地道に知らない誰かのために、尽力する」のは素晴らしいと再認識しました。私も何か…（三富）

▶初参加で3つの記事に写真で参加させていただきました。お話をうかがわせていただいたみなさんの生き生きとした目が印象的でした。（村田）

MINATO CITY

買い物するなら地元の商店街で

高輪地区総合支所　協働推進課　〒108-8581 港区高輪1-16-25　☎5421-7123　FAX：5421-7626　発行番号 2024071-2235